

～自動販売機編～

自動販売機を通して お客様に“飲む幸せ”を届けたい

今回のパートナー企業 株式会社 八洋様



テルウェル東日本が手がける事業の中には、さまざまなパートナー企業とのアライアンスのもとでお客様に提供しているサービスがあります。「BUSINESS NOW」のコーナーでは、そんなパートナー企業に取材して、事業をめぐる動向やビジネスのヒントを伺います。今回はNTTグループ各社のビルなどに設置している自動販売機の維持管理業務でアライアンスを組む、株式会社 八洋様にお話を伺いました。

「完全独立系」を強みに 柔軟なビジネスを展開

オフィスで、街角で、多くの人が毎日のように利用している自動販売機。日本国内には500万台以上が設置されており、そのうち約50%を清涼飲料の自動販売機が占めています。

八洋様は、主に首都圏において清涼飲料を中心とする自動販売機の運営・管理を行う飲料オペレーターです。7万台を超える自動販売機を設置する八洋様の特徴は、完全独立系であること。

「飲料メーカーと資本関係がないので、1台の自動販売機に複数メーカーの飲料を組み合わせて入れられます」と話すのは、同社代表取締役社長の後藤晃宏様。「メーカーにとらわれず、お客様のニーズや売れ筋の変化に柔軟に対応できるのが私たちの強みです」

「テルウェル東日本様が販売しているPB飲料水『Victory』も導入させていただいていますよ」と、同社法人営業部 中村彰洋様が言葉を継ぎます。



株式会社八洋
代表取締役社長
後藤 晃宏様

社会貢献の取り組みにも注力

「お客様から感謝され 共に成長し 豊かな心と幸せを築く」を経営理念とする八洋様は、自動販売機を通じた社会貢献にも力を入れています。

その代表例が「ボランティア・ベンダー」です。自動販売機での売上の一部を福祉や環境保護などの公益団体に寄付される仕組み。1994年に八洋様の提唱で発足したボランティア・ベンダー協会が運営に当たっております。

「東日本大震災のとき自動販売機が帰宅困難者の大きな助けになりました」と、同社常務取締役法人営業部統括部長の井上卓朗様も話すとおり、自動販売機の社会的意義に注目が集まりました。八洋様では、災害時に飲料を無償提供する「防災ベンダー」の設置のほか、26の営業所に常時10万本の飲料を備蓄、災害時に無償提供する協定を自治体と結ぶなどして、地元地域とつながりを持つ体制を整えています。

さらに、AED自販機の設置、環境負荷の少ない自動販売機や配送車両の導入、空缶の回収・リサイクルなど、社会貢献や環境対応に幅広く取り組んでいるそうです。



株式会社八洋
常務取締役 法人営業部 統括部長
井上 卓朗様

NTTグループとともに取り組む 「Wi-Fi自販機」に期待

そんな八洋様とアライアンスを組んで、これまで主にNTTグループ各社のオフィスなどに自動販売機を設置してきたテルウェル東日本。その2社にNTT東日本を加えた3社で、今まさに取り組んでいるのが、「一般市場向けの「Wi-Fi自販機」の設置です（囲み記事参照）。

スマートフォンやタブレットの普及とともに急速にニーズの高まっているWi-Fiスポットを付設することで、自動販売機の付加価値を向上。Wi-Fiユーザーが自動販売機に集まってくれば、飲料の売上増も期待できます。もちろん、災害時には「飲料」



株式会社八洋
法人営業部 第4グループ
中村 彰洋様



ボランティア
ベンダー

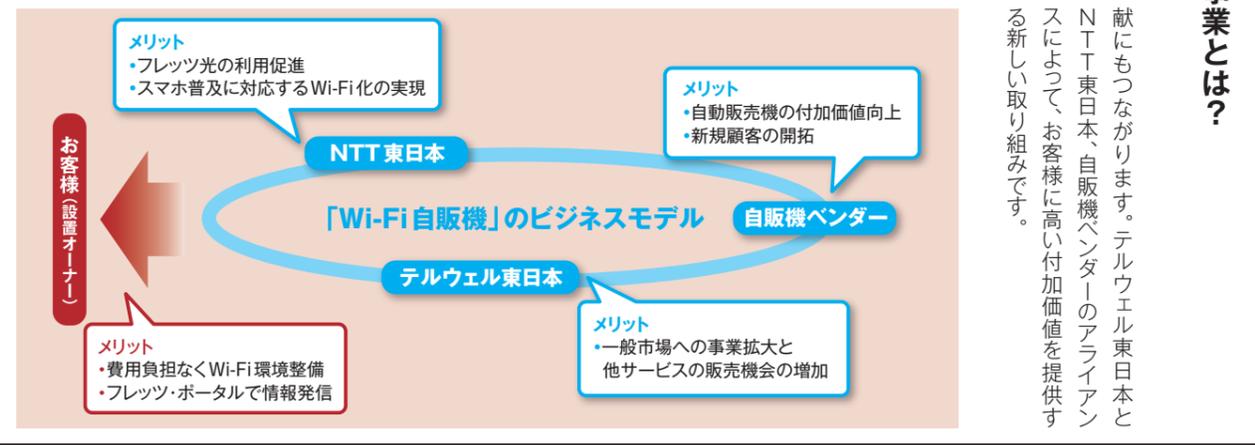
テルウェル東日本の自動販売機事業とは？ ～一般市場向けWi-Fi自販機に注力～

テルウェル東日本がNTTグループをはじめとするお客様の事業所に設置している自動販売機の台数は、約3,000台。販売する商品の種類や設置されるエリアなどに応じて、約80社の自動販売機ベンダーとアライアンスを組み、お客様のニーズに合わせて自動販売機の付加価値アップに努めています。

環境・省エネに配慮したものはもちろん、AEDを併設したものや、内蔵バッテリーなどで災害による停電時でも飲料を提供できる「災害対策ベンダー」、デジタルサイネージを活用し、さまざまな情報提供が行えるものなど、飲料とともに「安心」「安全」もご提供できるということが、テルウェル東日本オリジナル自動販売機の特長です。

さらに、テルウェル東日本が現在注力しているのが、一般市場向けの「Wi-Fi自動販売機」の設置です。

自動販売機に、NTT東日本の「フレッツ光」と「光ステーション」(公衆無線LANアクセスポイント)を組み合わせてパッケージ化。設置オーナーであるお客様に費用負担なくWi-Fi環境を構築することができ、不特定多数が利用する公共施設や商業施設では、CS向上や災害時の情報提供を目的に、来訪者向けWi-Fi環境の整備が求められており、環境整備によって、情報発信基地となり、「コミュニケーションの拠点」として、大いに活用していただけます。「Wi-Fi自販機」はそうしたニーズに応えるもので、テルウェル東日本にとっては「一般市場への事業拡大やNTT東日本の「光の利用促進」への貢



献にもつながります。テルウェル東日本とNTT東日本、自販機ベンダーのアライアンスによって、お客様に高い付加価値を提供する新しい取り組みです。

人の手に代わる役割を 自動販売機で提供したい

八洋様は、1977年の設立以来、自動販売機を通じて、「お客様へのサービスの追求」を考え、提供し続けてきました。「今後、社会の少子高齢化が進み、自動販売機には人の手に代わる役割がより強く求められるのではないのでしょうか。自動販売機設置お得意様との関係性の向上、そして、消費者の皆さまのライフスタイル変化に対応しうる、戦略的事業展開を追求していきたいと考えております(井上常務)」



「フレッツ光」を搭載したWi-Fi自販機 (写真はデモ機によるイメージ)

株式会社 八洋

自動販売機の総合オペレーターとして、首都圏に7万台を超える自動販売機を設置。26営業所と11事業所を拠点として、500台のルート車(配送トラック)がフォローを行っています。飲料の補充・集金、空缶の回収、故障の対応を行うルートセールスマンは全員が正社員。お得意様とのコミュニケーション、信頼関係の構築に努めています。日々のそうした積み重ねが、着実なビジネスの成長につながっています。



- 社名 : 株式会社 八洋
- 本社所在地 : 〒162-0813 東京都新宿区東五軒町2-18
- 資本金 : 1億800万円(関連会社を含む)
- 設立年月日 : 1977年4月30日
- 従業員数 : 1,710名(社員数1,010名、社員外従業員数700名)
- 主な事業 : 自動販売機による清涼飲料の販売、自動販売機の管理および設置メンテナンス
- 公式サイト : <http://www.hachiyoh.co.jp/>